



多摩市立瓜生小学校

# 瓜生小だより

平成30年度 第4号

平成30年 6月29日

## 道徳の時間

校長 吉田 正行

道徳の時間は、どんな時間なのでしょう。ずばり、道徳は心をより豊かにするための時間です。では、どのようにして心を豊かにするのでしょうか。

道徳の時間では、毎回一つの資料とじっくり向かい合います。そして「自分だったらこうする」と考えながら、自分の心ともじっくり向き合います。さらに友達と意見交流をします。一人一人の顔が違うように、一人一人の心も違います。多様な考えに触れ、自分の考え（道徳的な価値）を深めていきます。

自分の心と真剣に向き合い、自分の考え（心）をどんどん発表します。友達の考え（心）にも触れ、授業のまとめでは、「今までの私はどうだったかな。やっぱり自分の考えでよかったな。これからはこうしたい・・・」など心をより豊かにし、そしてこれからの自分の生き方を見出していく。それが道徳の時間だと思います。

先日、1年生の道徳の授業を参観しました。「かぼちゃのつる」という資料を通して、人の注意を聞き、わがままをしないで、規則正しい生活をしようとする態度を育てることを目的としています。

資料は、「かぼちゃがつるをどんどんのぼし、すいかの畑を通り、みんなが通る道までいってしまいます。途中、みつばちやちょうちょに注意されるのですが、かぼちゃはわがまま、自分がのぼしたいようにつるをのぼしていきます。最後にはみんなが通る道までつるをのぼしてしまい、そこへトラックがやってきて、つるの上を通り、かぼちゃのつるをぷつりと切ってしまいます。かぼちゃは痛くてぼろぼろなみだをこぼして泣いてしまう」という内容です。

この授業では児童がかぼちゃのかぶりものをつけて、かぼちゃになりきり、「みんなの言うことを聞かなかったときの気持ち」「ぼろぼろ涙をこぼして泣いたとき考えたこと」「つるをのぼす時にどんなことを考えればよかったのか」について、それぞれの意見を発表しながらみんなで考えました。

また、6年生の授業では「おじいちゃんとの約束」を資料として、命の意味を深く考えさせ、かけがえのない命を自分らしく精いっぱい生きるということについて議論し、考えを深めていました。

さて、今年度から道徳が教科となり、「瓜生の子」にも各自の学びについて所見でお知らせします。授業を話題にいただき、子供たちの心の成長を確認していただければ幸いです。また、夏休みには出かけることや人に会うことも多くなります。いろいろな場面に遭遇し、自分の行動について考える良い機会となることを期待しています。

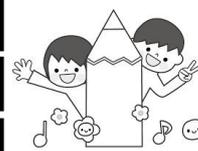


### 【生活習慣のふりかえり 6月】

□に各自のふりかえりを記入する

- |                     |                            |
|---------------------|----------------------------|
| あいさつ へんじ<br>挨拶・返事   | 自分から気持ちよい挨拶や返事をしましょう。…………… |
| やさしい言葉<br>優しい言葉     | 優しく心が温まる言葉づかいで話しましょう。…………… |
| がくしゅう どくしょ<br>学習・読書 | 家庭での学習や読書の時間を決めて取り組みましょう。… |
| しんせつ こうどう<br>親切な行動  | 親切な行動、助け合いを毎日欠かさず実行しましょう。… |



◎…よくできた ○…ときどきできた △…あまりできなかった

◆各自の一か月のふりかえりをご家庭でも話題にさせていただきようお願いいたします。